

令和6年度第2回城東区区政会議に関するご意見・ご質問への区の方
 (令和7年1月22日開催)

番号	提出方法	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての回答
1	会議当日	有田委員	<p>高齢者の集まりについて</p> <p>老人会のような集まりの機会が減っているの、そういった集まりが増えたらいいなと思う。</p> <p>元々参加されていた方は比較的参加されている印象があるが、この5年で75歳を超えた方の参加が少ないように思うので、参加いただけるようなアプローチが必要ではないか。</p>	<p>【保健福祉担当】</p> <p>高齢者が集まれる機会としては、地域においてふれあい喫茶や百歳体操、食事サービス等が開催されています。区社会福祉協議会が城東区の居場所マップを作成し、これらの活動場所を周知し、さらなる参加を促しているところです。</p> <p>ご意見をふまえて、75歳以上の方の参加が増えるような周知方法を検討いただくよう区社会福祉協議会へお伝えし、改善に努めてまいります。</p>
2	会議当日	高橋委員	<p>地域ネットワークの強化について</p> <p>地域のつながりづくり、高齢者が参加できる場所づくりを解決する一つの方法として、日曜日などに小学校に集まって学ぶ場を設けるといったものはどうか。</p>	<p>【市民協働課】</p> <p>本市では全ての方がその生涯にわたり学ぶことができ、学びや活動の成果を生かすことにより、ひとやまちとつながり、支え合い、共に成長していくことを目的とした「生涯学習活動」を積極的に推進しています。</p> <p>具体的な活動としては、本市から委嘱した生涯学習推進員を中心に区内各小学校の空き教室を利用した「生涯学習ルーム」を運営していただき、委員からご意見いただいております地域のつながりづくり、高齢者が参加できる場所づくりとして機能しております。生涯学習ルームへのご参加は「生涯学習ルーム一覧」を参照いただき当市民協働課までご連絡いただければ当該地域の担当者と連携いたします。</p> <p>【生涯学習ルーム一覧】</p> <p>https://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000018388.html</p>
3	会議当日	河野委員	<p>認知症サポーターについて</p> <p>認知症対策として実施している、認知症サポーターとオレンジサポーターは研修を受けて実施しているとのことだが、平日の研修実施では、働いている世代は参加しにくいので、もう少し参加しやすい形を検討していただきたい。</p>	<p>【保健福祉担当】</p> <p>認知症サポーター研修については、昼と夜の開催日を設けており、また地域の企業等からの要望があれば別途出張研修を実施しているところです。オレンジサポーターとなるためのステップアップ研修については、研修時間が4時間と長時間であるため、現在は昼からの開催のみ設定されています。</p> <p>働いている世代の方々も参加しやすい時間帯や受講形式の設定を考えていただくよう、問い合わせ窓口である区社会福祉協議会へお伝えし、改善に努めてまいります。</p>
4	会議当日	門田委員	<p>見守り相談員について</p> <p>ゆうゆう（城東区社会福祉協議会）には見守り相談員といった、高齢の認知症が疑われる方等の見守り支援をしてくれる方がいるが、区民にあまり知られていないと思うので、もう少し周知PRをしたほうがよいのではないかと思う。</p>	<p>【保健福祉担当】</p> <p>見守り相談の周知については、支援や相談内容等を記載した周知チラシを作成し、区役所や各地域憩いの家等に設置するとともに、全戸配付する区社会福祉協議会だよりも掲載しています。頂きましたご意見を踏まえ、周知方法を検討し、PRに努めてまいります。</p>

番号	提出方法	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての回答
5	会議当日	岡本委員	もと区民ホールの活用について 現在、もと区民ホールを幕で覆って工事を行っているが、どのような工事が行われているのか教えてほしい。	【防災・防犯担当】 もと区民ホールを防災（備蓄）倉庫として整備するため、ホール部分上部の吊り天井を撤去し、内部に高さが高いハイラテラル（棚）を設置する工事を行っています。
6	会議当日	若林委員	避難所の物資について 避難所に配置する物資にはどのようなものがあるか。 また、備蓄物資は、避難所に避難された人だけに配布され、自宅避難の方には届かないのではないかと。自宅避難の人にも、水や食料など支援できるような考えてもらいたい。	【防災・防犯担当】 水や食料などがあります。全国から救援物資が届くようになれば、自宅（在宅）避難の方に対しても支援していく方向になると思われます。
7	会議当日	若林委員	他都市との災害時の連携について 南海トラフ地震が来た時には、太平洋側が広く被災することになると思うので、そういった場合に備えて、お互いの助け合いという形で日本海側や遠隔のところとの連携や協定などを進めていくべきではないでしょうか。	【防災・防犯担当】 南海トラフ地震が発生した場合は、被災者が数千万人に達する可能性があり、例えば日本海側に遠隔避難するような必要性は感じていますが、各自治体の枠組みを越えての連携は現時点でそれほど進んでいないのが現状と考えています。
8	会議当日	高平委員	マンホールトイレの設置状況について 蒲生公園の周りにマンホールトイレが設置されているが、他の場所にも作る予定はあるか。 被災時には、女性の安心安全にも配慮したトイレの配置が必要と考える。	【防災・防犯担当】 城東区内で蒲生公園の周り以外にもマンホールトイレは設定されており、場所は防災マップに示されています。 トイレも含めて女性目線の避難所運営は必要と考えています。
9	会議当日	鈴木委員	防災リーダーの登録人数について 防災リーダーは各町会2名が基本になっているが、町会の状況に応じて増員は可能でしょうか。	【防災・防犯担当】 町会の状況に応じて事前に相談いただきながら増員いただくことは可能です。
10	会議当日	岡本委員	消費期限が近づいた備蓄物資の取り扱いについて 備蓄物資は、消費期限があるため入替が発生すると思うが、期限が近づいたものはどのように処理しているか。	【防災・防犯担当】 各地域での防災訓練時や区役所1階総合案内で啓発用として配布しています。
11	会議当日	山上委員	城東区内の公園の数について 城東区は人口に対して公園の数が少ない。南の方の地域が特に少なく、諏訪地域には1つも公園がない。子育て層にも高齢者にとっても必要なものであり、災害時の避難場所としても必要であるため、公園の設置をお願いしたい。	建設局の所管事項となりますので、区政会議委員からのご意見ということで、区役所より建設局へ伝達させていただきました。

番号	提出方法	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての回答
12	会議当日	内藤委員	<p>保留児童と待機児童について</p> <p>保留児童と待機児童の違いは何ですか。</p>	<p>【子育て教育担当】</p> <p>「保留児童」とは認可保育施設等に利用申請したものの入所できない児童のことで、保護者に対して申請を取り下げられるまでの間、入所が決まらない場合は保留中であることを通知しています。一方「待機児童」は、そのうちの他の保育サービスを利用している、育休延長が可能であり家庭で養育が可能である、他に利用可能な保育施設があるものの特定の保育施設を希望している場合や申請書類において保育要件を満たさないケースなどを除いた児童のことで、毎年4月1日時点の「待機児童数」として公表しています（公表時期は当該年度の5月中旬ごろ）。</p>
13	会議当日	山上委員	<p>諏訪小学校分校跡地のグラウンド開放について</p> <p>諏訪小学校分校跡地は施錠されていて、町会の会議など必要な時のみ使用することができる状態となっている。諏訪地域には公園が少ないので、分校跡地のグラウンドも開放してもらえないか。</p>	<p>【市民協働課】</p> <p>当該グラウンドは元々学校のグラウンドであった経過から学校体育施設開放事業用地として使用しております。学校体育施設開放事業は当該校下の地域住民で組織している「学校体育施設開放事業運営委員会（以下、委員会という）」と当区の間で協定を締結のうえ委員会により自主運営していただいております。協定の中では施設の安全管理対策を委員会側で実施することが定められているため、当該事業実施時以外は安全管理対策上施錠しており、常時グラウンドを開放することは困難ですが、広く地域住民の福祉・健康増進のための公の利用であれば、個々で一時的開放もしていると聞いております。上記利用でのご要望がございましたら委員会と連携いたしますので市民協働課までご連絡ください。</p> <p>【学校体育施設開放事業】</p> <p>https://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000379869.html</p>
14	会議当日	清水委員	<p>1歳半から4歳頃までの子育て事業の充実について</p> <p>妊産婦や3か月～1歳半頃までの子育て支援や見守りについては手厚く行われているように思うが、それ以降4歳頃までの子育て関連の事業が少し手薄ではないかと感じる。</p> <p>1歳半頃からは自我や自己主張が出てきて保護者の方が悩まれることも多いので、切れ目のない支援が行えるよう、子育て関連の事業を充実させてもらいたい。</p>	<p>【子育て教育担当】</p> <p>保育施設等を利用されていない未就園児（概ね0～3歳）と保護者を対象として、保育施設や子育て支援施設では、さまざまなイベントや交流の場を設定したり、子育て相談が行われています。</p> <p>区の子育て支援情報誌に掲載するなど周知も行っていますが、1歳半ごろまでは親子で気軽に外出することが難しい、また子育て経験が少なく不安を感じている保護者等は情報を入手しても、知らない場所に行くことへのハードルが高いことも多い状況です。そのため当区では「0歳児家庭見守り支援事業」で家庭訪問を行うとともに、1歳半の年齢到達により訪問が終了するまでに、施設訪問に同行するなどして利用を促し、子育てを家庭だけで抱え込まないように支援しています。</p>

番号	提出方法	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての回答
15	会議当日	米澤委員	子育てサロンの周知について	
			民生委員主体で実施している子育てサロンがあるが、そういう場所がある事を知らない人もいるので、もっと知ってもらうことが大事だと思う。	【子育て教育担当】 当区では毎月子育て応援情報誌『わくわく城東』を発行しており、子育てサロンの開催日等の情報も掲載しています。情報誌は区内のさまざまな施設に配架していただくとともに、ホームページに掲載し、また発行の案内を大阪市公式LINEで配信しています。
16	会議当日	天埜委員	JOTOふらっと教室の手続きに関する要望	
			JOTOふらっと教室を利用しようと思ったときに、小学校では学校側で申込みや手続きを行ってくれるが、中学校は申込用紙も学校にはなく、手続きも行ってくれない。必要としている保護者にとっては重要な情報であるので、小中学校で統一的な対応をしていただきたい。	【子育て教育担当】 JOTOふらっと教室については、対象児童等への支援については事業者に委託し、令和6年度より受付窓口を区内公立小中学校または区役所で行うこととしています。学校運営上、対応できる教職員の方や時間帯などが限定される場合もあるかと思いますが、保護者や利用児童等の負担にならない形で、学校とも連携してよりよい運営としていきたいと考えています
17	会議当日	山上委員	城東区における不登校児の状況について	
			学校に行けない不登校児について、大阪市の数字は他より多いように思うが城東区の状況はどうか。	【子育て教育担当】 区別の不登校児童生徒数のデータは非公表となっているため、お答えできません。
18	会議当日	永井委員	不登校児の居場所づくりについて	
			不登校児の中には、学校には行けないけれども、地域行事には積極的に参加したり、自分の興味のあることには取り組んでいる子もおり、そういった子は、地域の人たちが見守るというのも大事だと思う。学校によっては児童数が増えて空き教室がなくなっているところもあると思うが、学校に行けない、教室に入れないうちの子たちのために、学校側で息抜きできる場所や環境作りをしてもらいたい。	【子育て教育担当】 当区では登校はできるが教室には入りづらい、他の児童生徒と会わない場所なら登校できそうなどといった不登校やその傾向のある児童生徒のためのSSR（スクールサポートルーム）を区内の全公立小中学校の空き教室等を利用して整備しています。児童数の増加で一時的に決まった場所を指定できない学校もありますが、他の児童生徒に気を使わず過ごせるよう、パーテーションなどの間仕切りを設置したり、カーペットを敷いてゆったりと過ごせるような環境を学校ごとに工夫して開設・運用いただいています。
19	会議当日	山上委員	喫煙所の管理について	
			諏訪グラウンドの一角に喫煙室が作られたが、子どもも自由に入りできる状態になっており、大変不安に思う。夏は自動でクーラーが入るため快適で子どもが入ろうと思うので、入らないよう対策をしてほしい。	環境局の所管事項となります。 区政会議委員からのご意見ということで、区役所より環境局へ伝達させていただきました。 また、区役所より諏訪小学校へ、児童が喫煙室に入らないよう注意喚起していただくようお願いいたしました。

【議事録の掲載について】

令和6年度第2回城東区区政会議当日の議事録は、以下の城東区ホームページへ掲載しています。
 城東区トップページ>区政情報>区政会議>令和6年度 第2回城東区区政会議（本会・部会） 議事録
<https://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000645310.html>